

山行報告書

報告書作成

金原

山名[山域]	熊野古道 大雲取越・小雲取越	目的と方法	熊野三山をめぐる信仰の道を歩く
登山期間	2月28日	山行形態	縦走
参加人数	4人		

行動記録

27日旧市民病院19:00 == 岡崎IC == 東名阪 == 伊勢自動車道 == 勢和多気IC == R42 == 尾鷲 == 新宮 == 那智大社 28日0:30
 28日 那智大社5:30 == 那智高原公園6:10 == 舟見茶屋跡7:55 == 地藏茶屋跡9:10 == 越前峠9:55 == 小口12:00 == (昼食) == 小和瀬12:30 == 小和瀬登り口12:50 == 桜茶屋跡13:55 == 石堂茶屋跡14:40 == 百間峠15:30 == 請川バス停17:00

概念図



日誌

1・28うす暗い中、ヘッドライトをつけ、熊野那智大社、青岸渡寺 参拝後 熊野古道のひとつ 大雲取越へと向かう。 大雲取越・小雲取越とは、熊野那智大社から熊野本宮大社へ向かう山越えの道で、全約30キロ。熊野那智大社から小口まで大雲取越。小口から熊野本宮大社まで小雲取越。早速、古道の石段と杉林の中へとふみだす。那智高原公園にて、予定通りF氏に 一足先行していただく。舟見茶屋跡では 熊野灘方面に視界が、ひらける。うぐいすの声を聞きながら足もとには、オウレンの白い小花を見ながらのんびりと歩を進め たいしたアップダウンもないうちに、昼に小口集落に到着。旧小学校の玄関にて、のんびりと昼食をとる。ここから、小和瀬の集落まで15分ほど車道があるき小雲取越へと歩を進める。 尚、先行していただいているF氏より携帯電話あり、まもなくゴール請川に到着する由(何というスーパーマン、役の行者か天狗様か) 予定より1本早いバスにゆうに間に合い、新宮經由那智大社まで、もどっていただき車の回収に向かっていただいた。残る3人は、再び小和瀬の民家横より山道に入り椎ノ木茶屋跡～桜茶屋跡～石堂茶屋跡と歩を進め百間峠では、山また山の熊野の景色にしばし見とれる。熊野川が、突然見下ろせる所にたあと、民家の横を通り抜け終点の 請川バス停へと急降下する。10分もまたぬうちにF氏が、車で到着。遠路、バスで、車の回収までしていただき、熊野古道30キロを1日で終了できたのもすべて F氏のおかげと感謝しつつ、しめくくりの熊野本宮大社へとむかった。